

「令和4年度新型コロナウイルス感染症対策ロボット実装事業」採択施設について

<商業施設>

施設名	アリオ橋本・イトーヨーカドーアリオ橋本店	
所在地	神奈川県相模原市緑区大山町1-22	
施設外観		
施設概要	<p>J R・京王線橋本駅南口徒歩5分に立地。株式会社イトーヨーカ堂のモール型ショッピングセンター「アリオ」としてイトーヨーカドーと140以上のテナントで構成される。</p>	
ロボット等導入目的	<ul style="list-style-type: none"> ● ショッピングセンター（以下「SC」という）における単純業務の省力化と非接触による新型コロナの感染防止を実現し、ライフラインとしてのSCの持続性を担保する。 ● ロボット導入による効率化を通して獲得したリソースを最大限に活かし、お客様により良い買い物体験を提供する土台作りを行う。 ● ロボットを単なる人手の代替手段として捉えず、エンターテインメント性の打ち出しや子供たちへの最先端技術の体験機会など、SCの役割を踏まえた幅広い利活用に繋げる。 ● 消毒・検温等の基本的な感染対策の漏れを防ぐとともに、実行レベルを向上させ、お客様が安心して過ごせる場を提供する。 ● 省力化や効率化により、従業員がより良い仕事体験を得ることを目指す。 	
課題と感染症対策の効果	○課題	○感染症対策の効果
	品出しや廃棄物（段ボールや紙ごみ）回収の負荷軽減	作業の自動化・効率化による接触機会の削減
	買い物中の商品陳列場所の探索や価格照会などの補助	デジタルプライスと連動したカート一体型の売場案内ロボットなどの活用による接触機会の削減
	従業員によるメニュー提案・食材の調理方法・おすすめレシピ紹介などのサービス補助	自動化やデジタル化による接触機会の削減
	清掃・消毒作業の工数削減	作業漏れ防止と接触機会の低減
	警備業務支援（定期巡回や警備・交通誘導）	接触機会の低減
	視覚障がいや歩行困難者のアテンド	接触機会の低減とサービスレベル担保の両立
	※施設との調整のもと、上記から4～6の課題解決に取り組む予定	

施設名	ODAKYU 湘南 GATE	
所在地	神奈川県藤沢市南藤沢 21-1	
施設外観		
施設概要	江ノ島電鉄藤沢駅と直結し、J R藤沢駅南口から徒歩1分に立地。小田急百貨店と、66の専門店、藤沢市南市民図書館/藤沢市民ギャラリーで構成される。	
ロボット等導入目的	<ul style="list-style-type: none"> ● より多くのお客様に安心してご来店いただける環境づくりに向けてロボット等を通じたコロナウイルス感染防止対策を実施する。 ● デジタル化を通じてお客様の利便性を向上する。 	
課題と感染症対策の効果	○課題	○感染症対策の効果
	館内のインフォメーションカウンターでの案内業務	不特定多数の接触機会の低減
	館内清掃業務	作業員の清掃場所を限定することでの感染リスクを低減
	施設のポイントカードの入会希望者に対する案内・サポート	人の説明やサポートを省くことによる接触機会の低減
※施設との調整のもと、上記から1程度の課題解決に取り組む予定		

<医療施設>

施設名	医療法人 徳洲会 湘南鎌倉総合病院	
所在地	神奈川県鎌倉市岡本 1370-1	
施設外観	 <p>病院本館</p>	 <p>先端医療センター棟</p>
	 <p>救命救急センター棟 外傷センター棟</p>	
施設概要	J R 大船駅西口から車で約 10 分に立地。病院本館、先端医療センター、救命救急センター、外傷センターで構成（許可病床数 669 床、稼働病床数 658 床）される。	
ロボット等導入目的	<ul style="list-style-type: none"> ● 理念である「年中無休 24 時間オープン」「断らない医療」の実践に向けて、医療従事者にとって「ロボットは身近なデバイス」として定着することが重要である。 ● 患者への「手当て」を最大化するために、医療従事者や専門職員が、雑務や単純作業にとらわれることなく、ロボットに代替可能な業務は移譲し、本来業務に専念できる環境を整備する。 	
課題と感染症対策の効果	○課題	○感染症対策の効果
	病院内の人流計測による待ち時間短縮	診療時間・薬の待ち時間短縮による感染リスクの低減
	入院患者の買い物代行業務	スタッフ・患者家族の接触機会の低減
	患者搬送ロボット	搬送時間短縮による接触感染機会の低減
	患者の無断離院防止	感染リスクのある患者の管理業務負担の軽減
※施設との調整のもと、上記から 1～2 の課題解決に取り組む予定		

<宿泊施設>

施設名	湯本富士屋ホテル	
所在地	神奈川県足柄下郡箱根町湯本 256- 1	
施設外観		
施設概要	湯本温泉郷の玄関口に位置する箱根湯本駅から徒歩3分に立地。本館・新館で構成され、1,400平米のコンベンションホールや飲食などの付帯施設を備える。	
ロボット等導入目的	<ul style="list-style-type: none"> ● 不特定多数のお客様が移動するパブリックスペースや飲食施設の運営に係る業務の一部を代替し、省人化を進めることで新型コロナウイルス感染症の接触感染リスクの低減を図る。 ● 限られた人的資源を新たな感染対策の計画立案や具体化策の検討に専念できる環境の整備を図る。 	
課題と感染症対策の効果	○課題	○感染症対策の効果
	ロビーやホワイエの清掃業務	不特定多数の接触機会の低減
	利用者がマスク着用しない大浴場や脱衣場の清掃業務	残置飛沫との接触機会の低減
	大浴場の使用済みタオルの運搬業務	残置飛沫との接触機会の低減
	チェックイン時の案内業務	接触時間の短縮
	レストランや宴会場（食事時の飛沫が残っている）の清掃業務	換気が十分でない状況下における感染リスクの低減
	下膳した食器類を台車で運ぶ業務	不特定多数の接触機会の低減
	※施設との調整のもと、上記から2～3の課題解決に取り組む予定	